

ご挨拶

残暑お見舞い申し上げます。会員の皆様・賛助会員の皆様には、自己(自社)の業務がお忙しい中、協会活動に賛同していただき、御礼申し上げます。

昨年度より、副会長を拝命しております松戸支部の福田幸則です。須田会長のもとで微力ながら執行部の一員として努力していく所存です。

また公益社団法人千葉県建築士事務所協会の会員として、数多くの会員や賛助会員の皆さんと、つながりができた事や、事業にも参加させてもらっており、私にとっては大変大きな経験です。

協会活動においても、各会員や賛助会員の献身的な努力により実行されるものだと思います。この努力は相当なもので、各事業や委員会活動・支部活動の実現は、個々の能力の向上にも役に立っていると思います。このことは、私にとっても、大変良い経験となっております。

ここに来まして、コロナ感染も第7波になり急激に拡大しています。協会内でも感染者が出てきておりますが、事務局では、事務局員のPCR検査を実施し、陰性を確認しております。千葉会でも引き続き、コロナ対策をおこないます。会員の皆様・賛助会員の皆様もよりご注意下さるよう、お願い申し上げます。

コロナ禍でも、公益法人としての活動や、建築士・建築事務所の知識・技術の進歩に対する講習や勉強会や、日事連・千葉県などの委託講習や、委員会が主催する技術講習・見学会なども開催したいと思えます。ですが、千葉会では県や国からの、行動制限が発令された場合は、原則それに従います。

今現在は、各委員会内の活動(会議)をZoom等も利用して、リモート会議なども数多く開催しております。

講習会や勉強会も、ZoomやYouTubeなど数多くのリモート関連を利用して行う事も始めております。

今後は、他のリモート方式なども考慮に入れ、いろいろなものを駆使して交流に努めたいと思えますので、皆様方よりのアイデアがあればお知らせください。

支部の皆さんには、本部の様子は分かりにくい状況ですが、支部と本部との意志の疎通をはかっていきたいと思っております。どのように対応していくかも、今後の課題だと思います。

思いつくままに書きましたが、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

各会員・賛助会員の皆様にとって、ますますの進歩・発展と、当事務所協会発展と継続を心から祈り私の挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 千葉県建築士事務所協会
副会長 福田 幸則